

BIGLOBE クラウドホスティング  
ホワイトペーパー  
ネットワーク編

4.2 版

(2023 年 12 月 5 日)

ビッグロブ株式会社



# 目次

1	はじめに	1
1.1	本書の目的	1
1.2	用語の定義	2
2	ネットワーク	3
2.1	標準構成	3
2.1.1	グローバルネットワーク	4
2.1.2	プライベートネットワーク	5
2.2	オプション構成	6
2.3	IP アドレス	7
2.4	ロードバランサ	9
3	セキュリティ対策	11
3.1	仮想ファイアウォール	12
3.2	不正侵入防御(IPS)／不正侵入検知(IDS)	15
4	監視	16
5	接続オプション	18
5.1	クラウドアクセスサービス(お客様指定回線)	20
5.2	クラウドアクセスサービス(ハウジング連携)	21
5.3	クラウドアクセスサービス(IPsec-VPN)(2017年7月25日をもって新規販売を終了しました)	22
5.4	infra-VPN サービス(2022年5月5日をもって新規販売終了致しました)	23
5.5	常時接続型クラウド VPN サービス(株式会社網屋 提供) (2016年4月をもって新規販売終了致しました)	23
5.6	BIGLOBE クラウド VPN for 奉行シリーズ(2017年1月11日をもって新規販売を終了しました)	24
5.7	BIGLOBE クラウド VPN for PCA シリーズ(2017年1月11日をもって新規販売を終了しました)	25
5.8	BIGLOBE クラウド VPN2(2021年3月23日をもって新規販売を終了しました)	26
5.9	BIGLOBE クラウド ソフトウェア VPN2(2021年3月23日をもって新規販売を終了しました)	27
5.10	BIGLOBE クラウド ソフトウェア VPN Lite(2021年3月23日をもって新規販売を終了しました)	28
5.11	BIGLOBE クラウド VPN3 V-Client	29
5.12	BIGLOBE クラウド VPN3 V-edge	30
6	その他関連情報	31

# 1 はじめに

## 1.1 本書の目的

公共機関および一般企業では、システム構築やリプレースにおいて、クラウド環境の導入が増加しております。しかし、クラウド環境の特性やサービス仕様に対する認識と理解の度合いによっては、導入コストやランニングコストの増大はもとより、セキュリティレベルの低下をもたらします。組織目標を達成するために、どのようにクラウド環境を活用してゆき、それに伴う阻害要因やリスクを明確にし、有効な対策を行なうことが、IT の価値を最大限に引き出していく上で必要です。

本書では、BIGLOBEクラウドホスティング(以下、クラウドホスティングと記載します)をご検討のお客様および関連ベンダー様に対し、クラウドホスティングで提供している仮想ネットワークの仕様および関連リスク、注意点をお伝えすることを目的としています。

また、別途同様のホワイトペーパーとして「仮想サーバ編」「仮想ディスク編」「セキュリティ編」をご提供しております。

ホワイトペーパーは、BIGLOBE クラウドホスティングの東日本第3リージョンについて記載しています。

## 1.2 用語の定義

本書で使用する用語を以下に説明いたします。

用語	説明
BIGLOBE クラウドホスティング (以下、クラウドホスティング)	仮想サーバリソースをオンデマンドでご利用いただける IaaS 型パブリッククラウドです。
仮想サーバ	1 台の物理サーバのコンピュータ資源をソフトウェアで分割し、仮想的に複数のサーバが同時に稼動するように構成されたサーバ。本サービスでは、お客様の設定完了から最短5分でご提供できます。
物理サーバ	サーバの実体。
お客様	本サービスをご利用いただく法人格の企業様。
コントロールパネル	ご利用担当者様自身でサーバを構築するための管理画面です。サーバの構築のほか、各種情報の参照や連携サービスのお申し込みができます。
東日本第3リージョン	2021 年 11 月にサービス提供を開始したリージョンです。 東日本地域のデータセンタを利用しています。
仮想化基盤	仮想サーバを提供するためのインフラです。特に指定が無い場合は、VMware vSphere。
連携メニュー	BIGLOBE クラウドホスティングと連携して利用可能なオプションサービスです。BIGLOBE 提供とソリューションパートナー企業様提供のメニューがあります。

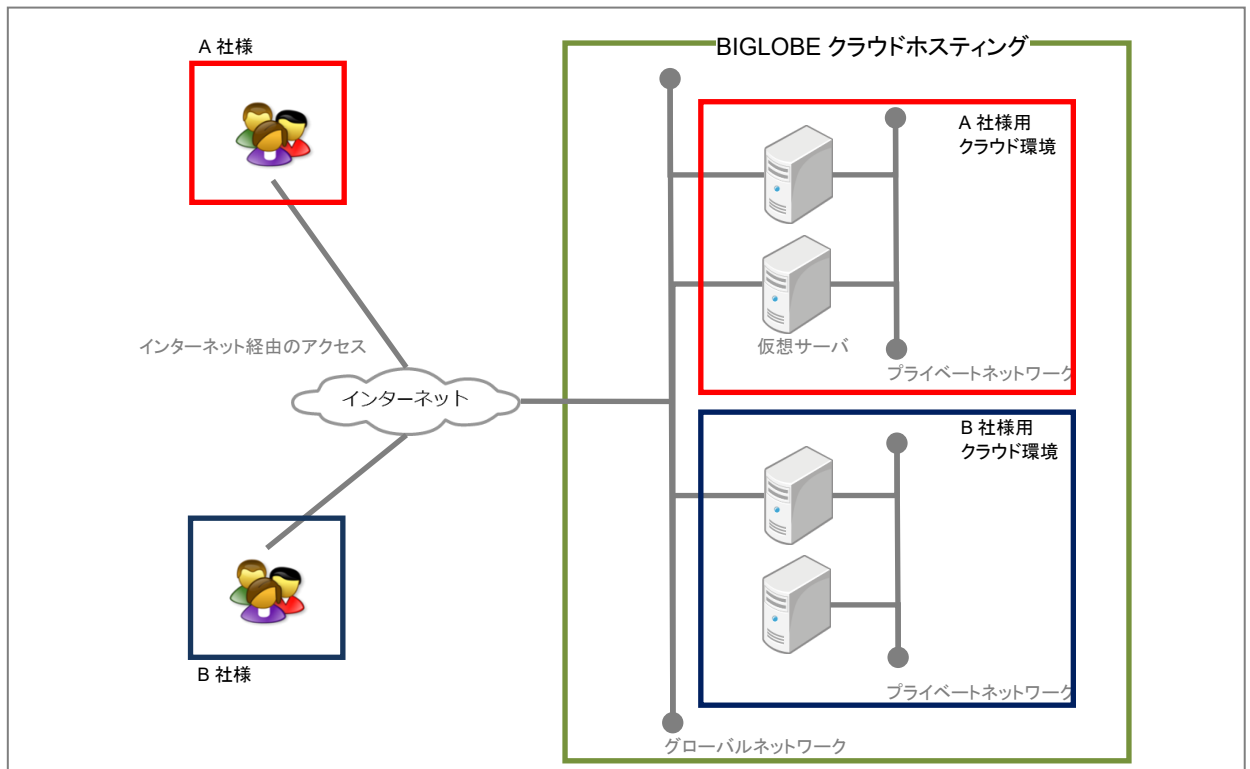
## 2 ネットワーク

### 2.1 標準構成

クラウドホスティングでは、お客様の拠点からインターネット経由で仮想サーバや各種オプションを構築したり、構築した仮想サーバを利用する環境を提供します。

また、標準でプライベートネットワークを提供しているため、仮想サーバ間のデータ送受信はグローバルネットワークを経由しない、よりセキュアな環境で実施することが可能です。

◇イメージ図



## 2.1.1 グローバルネットワーク

グローバルネットワークとは、グローバル IP アドレスを利用してインターネットと接続可能なネットワークを指します。

このネットワークは、インターネット網と接続しているため、常に外部からの脅威に晒されています。

また、クラウドホスティングをご利用の複数のお客様でセグメントを共有して利用しています。このため、お客様にてグローバルネットワーク側からの不要なアクセスを遮断する等の防御策を実施することを推奨します。

クラウドホスティングでは、防御の方法として仮想サーバのアクセス制御設定以外に以下のオプションをご用意しております。

(1)グローバル IP アドレスを保有しない仮想サーバの作成(※)

サーバ作成時にグローバル IP アドレスを保有しない仮想サーバを作成することができます。

(2)ファイアウォール等のセキュリティオプションの利用

詳細は、「第 3 章 セキュリティ対策」の章をご参照ください。

(※)グローバル IP アドレスを保有する仮想サーバとグローバル IP アドレスを保有しない仮想サーバの月額及び従量料金は同じです。

◇速度(東日本第3リージョン)

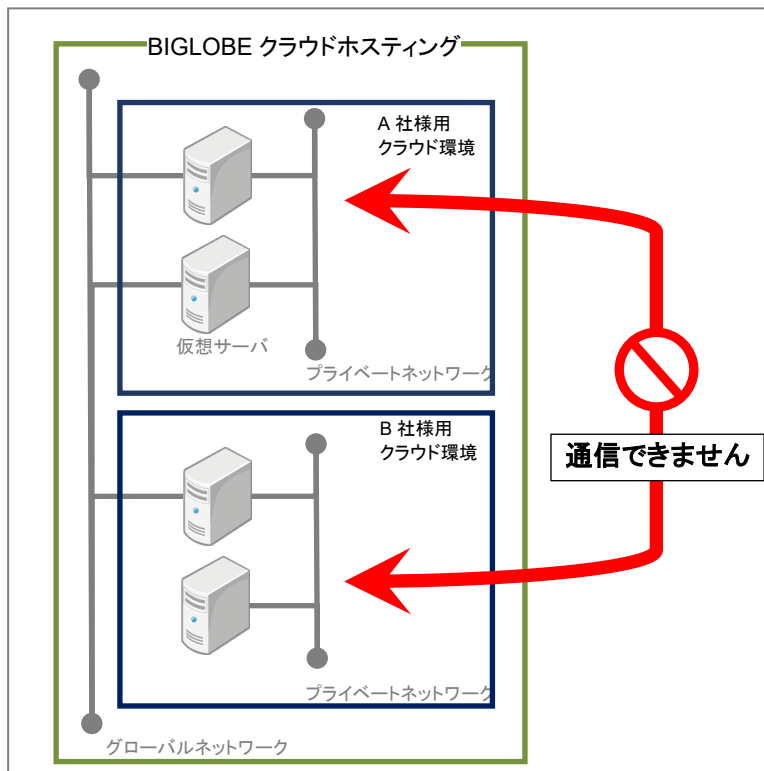
インターネット接続は大容量(10Gbps 冗長構成)のバックボーンを利用した 10Gbps ベストエフォートで提供していますが、仮想サーバのネットワークインターフェイスの帯域は 300Mbps が標準です。クラウドアプリストアより「ネットワーク帯域拡張(1Gbps ベストエフォート)」を購入することで 1Gbps に拡張できます。ただし、どちらもベストエフォートのため帯域を保証するものではありません。

◇IP アドレス

割り当てられる IP アドレスについては「2.3 章 IP アドレス」をご参照ください。

## 2.1.2 プライベートネットワーク

データセンター内のプライベートネットワークは、お客様の契約毎に論理的に分割したプライベート LAN を提供しています。一つの契約で、複数のプライベート LAN を利用することはできません。



### ◇速度(東日本第3リージョン)

仮想サーバのプライベートネットワークの帯域は 300Mbps が標準です。クラウドアプリストアより「ネットワーク帯域拡張(1Gbps ベストエフォート)」を購入することで 1Gbps に拡張できます。ただし、どちらもベストエフォートのため帯域を保証するものではありません。

### ◇IP アドレス

割り当てられる IP アドレスについては「2.3 章 IP アドレス」をご参照ください。

### ◇セキュリティ

#### (1) プライベート LAN

ご契約毎に独立したプライベート LAN を利用することで、情報漏えい等のリスクを軽減できます。

#### (2)ファイアウォール等のセキュリティオプションの利用

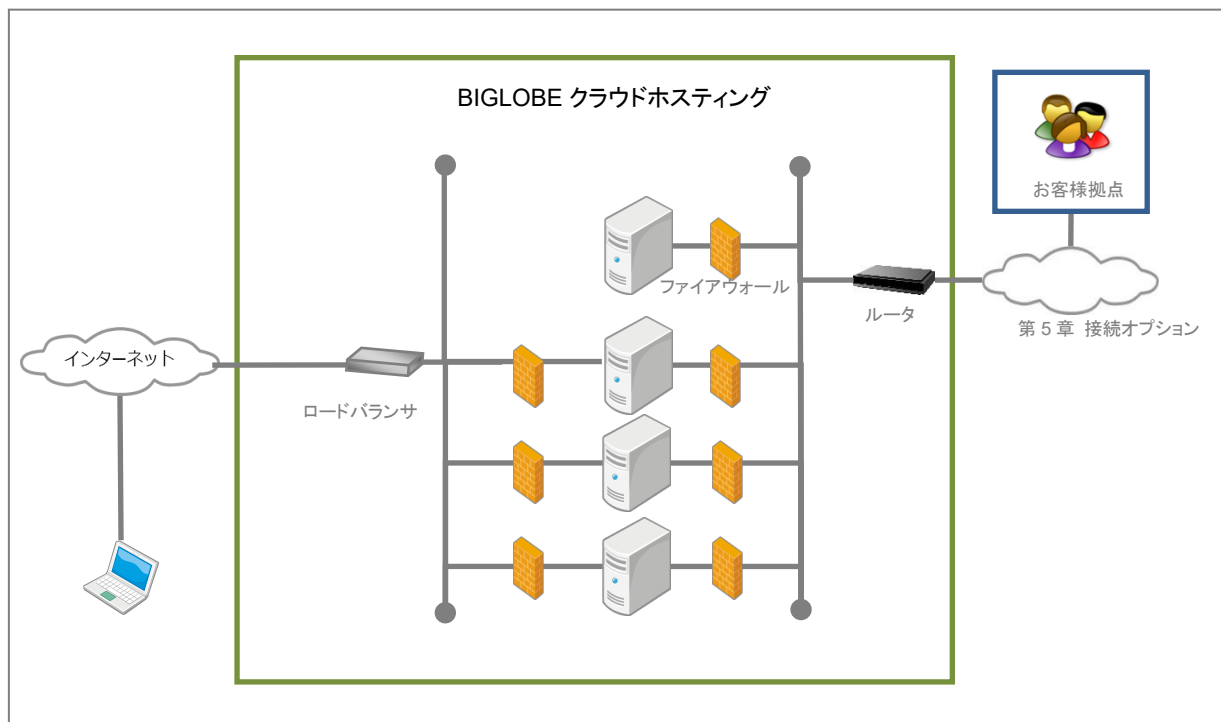
詳細は、「第 3 章 セキュリティ対策」の章をご参照ください。

## 2.2 オプション構成

標準構成ネットワークにオプションサービスを組み合わせることで、お客様のニーズに合わせたネットワーク環境を柔軟に構築することが可能です。

例えば、ロードバランサによる冗長構成やファイアウォールによるセキュリティ向上だけではなく、お客様ごとに論理的に独立したプライベート LAN を提供しているため、お客様拠点(オンプレミス)やハウジングエリア、ホスティングエリアと連携させたハイブリッド環境を構築することが可能です。

◇イメージ図



ファイアウォール、IPS/IDS、WAF については「第 3 章 セキュリティ対策」の章をご参照ください。  
ロードバランサについては「第 2.4 章 ロードバランサ」の章をご参照ください。  
各種接続オプションについては「第 5 章 接続オプション」の章をご参照ください。



## 2.3 IP アドレス

クラウドホスティングで提供する IP アドレスには 3 つの種別があります。それぞれ提供する IP アドレスと提供方法は以下のとおりです。

IP 種別	提供する IP アドレス	IP アドレス提供方法
仮想サーバ用 IP アドレス	グローバル IP アドレス (IPv4) グローバル IP アドレス (IPv6) プライベート IP アドレス (IPv4)  ※グローバル IP アドレスなしの仮想サーバはプライベート IP アドレス (IPv4) のみ提供されません。	<サーバに割り当て> ・仮想サーバ新規作成時に「IP アドレス新規取得」選択 ・グローバル IP アドレスを保有しない仮想サーバに「グローバル IP アドレス追加」選択  <保持 IP アドレス> ・IP アドレス「新規購入(サーバ用)」選択 ・サーバ削除時に「IP アドレス保持する」選択  ※グローバル IP アドレスなしのサーバ削除時に保持する仮想サーバ用 IP アドレスはプライベート IP アドレス (IPv4) のみになります。
クラスタ用バーチャル IP アドレス	プライベートアドレス (IPv4)	<保持 IP アドレス> ・IP アドレス「新規購入(クラスタ用)」選択
L7 ロードバランサ用バーチャル IP アドレス	グローバル IP アドレス (IPv4) グローバル IP アドレス (IPv6) プライベート IP アドレス (IPv4)	<保持 IP アドレス> ・IP アドレスの新規購入で L7 ロードバランサ用を選択

### ◇グローバル IP アドレスを保有した仮想サーバの設定について

グローバル IP アドレスを保有した仮想サーバには、DNS サーバのアドレス、NTP サーバのアドレス、デフォルトゲートウェイのアドレス、サブネットマスク等が設定されているため、追加設定なしでインターネット接続が可能です。

仮想サーバの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、ルーティングにおける設定の変更、削除、追加を行うことは禁止されています。グローバル IP アドレスは 1 サーバのネットワークインターフェイスに対し IPv4・IPv6 各 1 つを利用することができます。

NTP サーバの IP アドレスは、削除は禁止ですが、変更、追加は可能です。

DNS サーバの IP アドレスは、削除、変更、追加が可能です。

### ◇クラスタ用バーチャル IP アドレスについて

クラスタリングソフト等を構成する際に仮想 IP アドレスとして利用可能です。クラスタリングソフトの設定等についてはサポート対象外となります。

クラスタ用バーチャル IP アドレス購入時は、1 台の仮想サーバにプライベート IP アドレスを複数利用することが可能です。

### ◇L7 ロードバランサ用バーチャル IP アドレスについて

L7 ロードバランサにはグローバル IP アドレスとプライベート IP アドレスが標準で割り当てられます。複数のロードバランサを用いて冗長化する場合には、バーチャル IP アドレスを共通の IP アドレスとしてトラフィック IP グループに設定することが可能です。

### ◇IP アドレスの指定について

IP アドレスは、複数のサブネットから自動割当てされます。複数台同時に作成した場合でもシーケンシャルに割り当てられるのではなく、複数のサブネットからランダムに割り当てられます。IP アドレスやサブネットの指定をすることはできません。

また、お客様のグローバル IP アドレス、プライベート IP アドレスをクラウドホスティングに持ち込むことはできません(一部の回線オプションを除きます。詳細は「第 5 章 接続オプション」の章をご参照ください)。

### ◇IP アドレスの再利用について

上記表中の<保持 IP アドレス>で提供する IP アドレスは、仮想サーバ新規作成時に再利用することが可能です。保持 IP アドレス機能を利用すれば、以前の IP アドレスを引き継いだ機器を新たに作成できるので、ネットワーク設定の省力化と利用までの短縮化を図ることができます。例えばサーバリプレース時などに有効な機能です。

ただし、上記表の IP 種別をまたがった利用はできません。

保持した IP アドレスは、コントロールパネルの「保持 IP アドレス一覧」で確認できます。

利用できる IP アドレスは、保持 IP アドレス一覧にある IP アドレスのみです。仮想サーバに設定を行う際、IP アドレスが競合しないように行ってください。

## 2.4 ロードバランサ

クラウドホスティング上の仮想サーバへのアクセスが集中した際、同じ役割を持つ仮想サーバを複数作成し、その上位にロードバランサ(負荷分散装置)を配置することで、その負荷を分散することができます。

クラウドホスティングではロードバランサに関してクラウドアプリストアの商品を提供しています。

サービス名	構成	レイヤ	対応ネットワーク	SSL アクセラレータ	アクセスログ
L7 ロードバランサ	専用仮想アプライアンス	L7	グローバルネットワーク プライベートネットワーク 両方可	可	確認可

### ■L7 ロードバランサ

レイヤ 7 での負荷分散機能を有する L7 ロードバランサを提供しています。クラウドアプリストアより購入します。

#### ◇構成について

BIGLOBE クラウドホスティング環境で利用できる仮想アプライアンスとして提供します。仮想サーバに相当する L7 ロードバランサ(ライセンスなし)とご利用帯域を指定するライセンス商品(10Mbps、100Mbps、300Mbps)を組み合わせることで L7 ロードバランサの機能がご利用可能となります。

ロードバランサは複数個、購入することで冗長化することが可能です。

ロードバランサには別途、仮想 IP アドレスを購入し、設定することが可能です。1 契約 ID あたり、ロードバランサの仮想 IP アドレスと L7 ロードバランサ(ライセンスなし)に付与される IP アドレスの合計数の上限は 20 個となります。

#### ◇帯域について

10Mbps、100Mbps、300Mbps の 3 つのライセンスを提供しています。300Mbps のライセンスにはネットワーク帯域拡張(300Mbps ベストエフォート)が含まれます。スループットはベストエフォートとなります。

帯域拡張のライセンスを購入することで 10Mbps から 100Mbps に、100Mbps から 300Mbps にそれぞれ帯域を拡張することが可能です。帯域を縮小する場合は該当するライセンスのご解約及び新規のライセンス購入が必要となります。

#### ◇送信元 IP アドレスについて

IP トランスパアレント機能を有効にすることで送信元 IP アドレスを取得可能です。(デフォルトでは無効になっています。また、IPv4 のみ対応しています。)

その他、SSL アクセラレータ機能を利用している場合にはヘッダー情報「X-Forwarded-For」を有効にすることで送信元 IP アドレスを取得することが可能です。

#### ◇SSL 通信について

SSL アクセラレータ機能が利用可能です。(クロスルート証明書に対応)

#### ◇負荷分散アルゴリズムについて

ラウンドロビン、重み付けラウンドロビン、最適予測、最小接続数、最速応答が利用可能です。

#### ◇セッション維持方式について

IP ベース、Cookie ベース、URL ベース(ID 埋込)、SSL セッション ID ベースが利用可能です。

#### ◇ヘルスチェック方式

L3~L7レベルのヘルスチェックが利用可能です。パッシブ(クライアントからリクエスト受信の都度、対象サーバへ確認)、アクティブ(対象サーバへ定期的にヘルスマonitoringを行う)の 2 つのモードが選択できます。

◇サポートプロトコル

TCP、HTTP、SSL、SMTP、FTP、RTSP、SIP が利用可能です。

◇コンテンツ圧縮

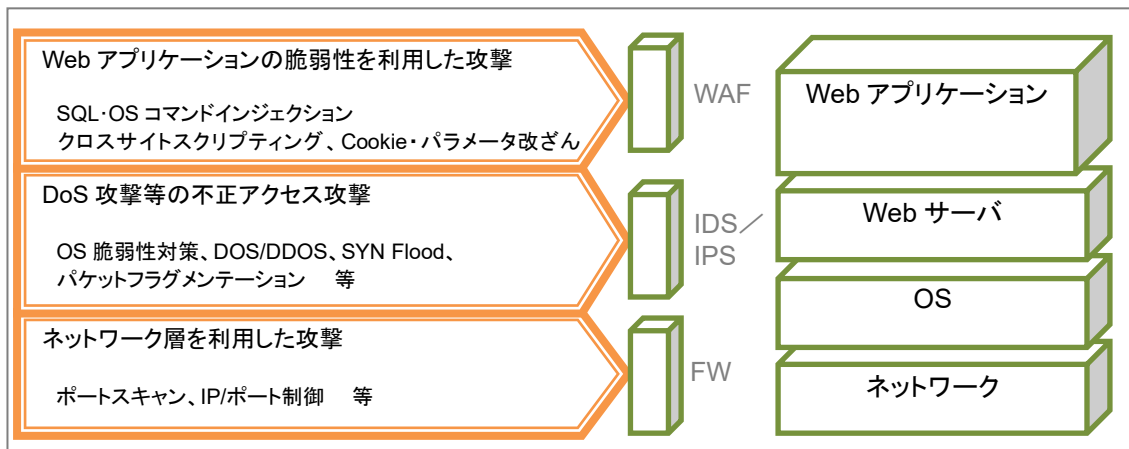
gzip 等のコンテンツ圧縮により、トラフィックを最適化し、高速化を実現可能です。

◇SNMP サポート

SNMP MIB ポーリング、Trap の機能が利用可能です。

### 3 セキュリティ対策

外部からの攻撃に対しては、お客様にて必要に応じて適切なセキュリティ対策を実施してください。  
一般的な対策としては以下の通りです。



－FW(ファイアウォール)

外部から内部(企業ネットワーク)への不正アクセスを禁止するシステムです。

－IPS/IDS

ワームや Dos 攻撃などファイアウォールでは防ぎ切れない攻撃による侵入を検知し、接続の遮断などの防御をリアルタイムに行うことができます。

－WAF(Web アプリケーションファイアウォール)

Web アプリケーションに渡されるデータをチェックし、攻撃とみなしたアクセスをブロックします。これにより、通常のファイアウォール、IDS/IPS では防ぎきれない、悪質な攻撃から Web アプリケーションを守ります。

クラウドホスティングでは、これらの機能をオプション及び連携メニューで提供しています。

### 3.1 仮想ファイアウォール

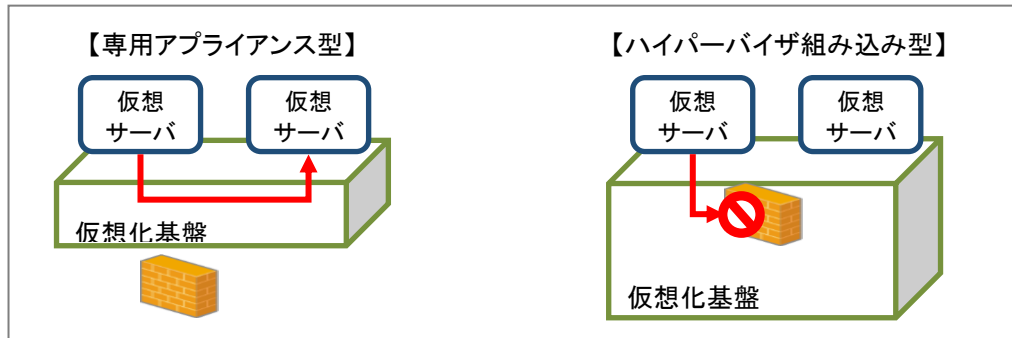
クラウドホスティングでは仮想ファイアウォールの機能をセキュリティオプションとして提供しています。コントロールパネルよりファイアウォールの購入や設定を行うことが可能です。

#### ◇構成について

仮想ファイアウォールは、専用アプライアンスではなく、ハイパーバイザ組み込み型で提供いたします。

ハイパーバイザ組み込み型を採用することで、仮想サーバ間の不正通信防御や仮想マシン単位でのポリシー制御を行うことができます。

<イメージ図>



仮想ファイアウォールは、仮想サーバ毎に購入する必要がありますが、ポリシー設定等は複数台共通で行うことができ、グローバルネットワーク、プライベートネットワークどちらにも設定することが可能です。適用対象の仮想サーバに対して、接続元と宛先との間の通信ルールを設定します。

なお、NAT 機能は提供していません。

#### ◇デフォルトのルールについて

仮想ファイアウォール作成(購入)直後のルールは以下の通信を除き「すべて拒否」となっています。

送信元	送信先	送信先 サービス/ポート番号
仮想サーバ	BIGLOBE の NTP サーバ	123/udp
仮想サーバ	BIGLOBE の DNS サーバ	53/tcp, 53/udp
仮想サーバ	BIGLOBE 提供プロキシサーバ (yum, mackerel, acronis)	80/tcp
仮想サーバ	コントロールパネル API	443/tcp
Infra-VPN	L7 ロードバランサのプライベート IP アドレス	9090/tcp

仮想ファイアウォール作成と同時に本ルールが仮想サーバに適用されるため、別途ルール追加する必要はありません。

なお、デフォルトでは、SSH(Linux)及びリモートデスクトップ(Windows)の接続は許可されていませんが、仮想ファイアウォール作成時に「DefaultGroup」チェックを入れることによって、特別な設定せずに SSH 及びリモートデスクトップ通信が可能となります。

「DefaultGroup」チェックを入れることによって許可される通信は以下の通りです。

- Linux の場合 : SSH 接続(22/tcp)
- Windows の場合 : リモートデスクトップ接続(3389/tcp)

「DefaultGroup」チェックを入れた仮想サーバは DefaultGroup グループに追加されます。SSH 及びリモートデスクトップ通信を拒否する場合は、DefaultGroup グループの仮想サーバ一覧から対象サーバを削除してください。

また、ステートフルインスペクション機能は有効になっており、Outbound 後の戻り通信についてはフィルタ

が設定されていないくても、自動で許可されます。

#### ◇グループ/ルールの適用について

仮想サーバは複数のグループに属することが可能です。複数グループに属した場合、グループに設定されているすべてのルールが適用されます。ルールは Allow(許可)のみ設定できます。

設定可能な FW ルールのプロトコルは以下のサービスリストの通りです。

#### 【サービスリスト】

プロトコル名	TCP/UDP	ポート番号
ftp	TCP	21
ssh	TCP	22
ah	-	-
esp	-	-
dns	UDP	53
http	TCP	80
ms-rpc(tcp)	TCP	135
ms-rpc(udp)	UDP	135
snmp	UDP	161
https	TCP	443
mysql	TCP	3306
ms-rdp	TCP	3389
icmp(ping)	-	-
WAF-console	TCP	31106
WAF-service	TCP	9434

他のプロトコル(例えば、VRRP プロトコル等)の通信許可はできません。  
TCP・UDP のポート番号は任意の範囲(1~65535)を指定することが可能です。

#### ◇ロードバランサとの連携について

クラウドホスティングのロードバランサと仮想サーバに適用する仮想ファイアウォールを利用する場合、インターネットからの接続は(1)ロードバランサ (2)ファイアウォール (3)サーバの順番にトラフィックが流れます。

ロードバランサと仮想サーバ間の通信に利用している IP アドレスに応じた通信許可の設定が必要となります。

また、仮想ファイアウォールをロードバランサに適用することができます。ロードバランサと仮想サーバのそれぞれにファイアウォールを適用した場合、インターネットからの接続は(1)ファイアウォール (2)ロードバランサ (3)ファイアウォール (4)サーバの順番にトラフィックが流れます。

#### ◇IPv6 について

仮想ファイアウォールを適用した仮想サーバにおける IPv6 通信は全て破棄されます。破棄されたパケットに関するログは出力されません。

◇動的ポートを利用するプロトコルについて

仮想ファイアウォールでは、FTP サービス、MS-RPC サービスのみステートフルインスペクションが有効となります。その他のサービスで動的ポートを利用される場合、明示的に必要なポートを許可していただく必要があります。

FTP サービス、MS-RPC サービスは、以下の手順でルールを作成することによりステートフルインスペクション機能が有効となります。

・FTP サービス

コントロールパネルのファイアウォール設定画面

プロトコル>サービスにて指定する場合

- ・FTP(21/tcp)

・MS-RPC サービス

コントロールパネルのファイアウォール設定画面

プロトコル>サービスにて指定する場合

- ・MS-RPC(135/tcp)
- ・MS-RPC(135/udp)

※ポート番号を範囲指定した場合は、ステートフルインスペクションが有効となりません。ご注意ください。  
※動的ポートを利用するプロトコルについての内容は 2016 年 5 月 11 日以降に実施されたファイアウォール基盤のリニューアルに伴うものです。

◇無通信タイムアウトについて

通信が発生していない状態が 12 時間続いた場合は、その通信は破棄される仕様となっております。

◇ICMP について

サービスリストから選択できる「icmp(ping)」は ping(エコー要求、エコー応答)を許可するものであり、すべての ICMP タイプを許可するものではありません。

◇ログ参照について

下記の条件を満たす場合、参照可能なログは 1 件になります。

- ・同一の宛先 IP アドレスに対して、1 秒あたり 30 件以上のログがある場合
- ・同一の送信元 IP アドレスに対して、1 秒あたり 30 件以上のログがある場合



## 3.2 不正侵入防御(IPS)／不正侵入検知(IDS)

クラウドホスティングでは不正侵入検知／不正侵入防御の機能をクラウドアプリストア及び連携メニューにてご提供しております。

なお、仮想化基盤の上位ネットワークにて振る舞い検出方の DoS/DDoS 防御対策を実施しています。攻撃として検出されたトラフィックのみを遮断し、それ以外のトラフィックはサーバへ配送します。外部からの攻撃対策は自動化しており、即時対応を可能にすることで、仮想化基盤への影響を最大限軽減しています。

### ■クラウド型 IPS+WAF 攻撃遮断くん(株式会社サイバーセキュリティクラウド 提供)

外部に公開された仮想サーバへのサイバー攻撃や不正アクセスを防ぐ、クラウド型の IPS+WAF です。シグネチャ更新は自動で行われるだけでなく、システムの保守・運用は全て株式会社サイバーセキュリティクラウドが行います。

詳細は、クラウドアプリストアの HP (<https://cloudapplistore.biglobe.ne.jp/appliStoreList.do>) もしくは BIGLOBE 法人コンタクトセンターにご確認ください。

## 4 監視

クラウドホスティングでは、お客様が構築した仮想サーバに対して以下のオプションをご提供しています。

### ■クラウド監視

クラウド監視の各プランの違いは下記の通りです。

	クラウド監視 BIGLOBE クラウド監視 Lite プラン	クラウド監視 BIGLOBE クラウド監視 Standard プラン
死活監視	○	○
外形監視(URL 監視)	×	○
ポート監視	○	○
CPU 使用率監視	○	○
ディスク容量監視	○	○
ネットワーク I/O 監視	○	○
プロセス監視	○	○
AP ログファイル監視	○	○
イベントログ監視	○	○
監視項目のカスタマイズ	○	○
パフォーマンスチャート	○	○
監視情報保有期間	3 ヶ月	460 日

### ■クラウド監視 (2017/11/09 サービス開始)

#### ◇サービス概要

Mackerel(株式会社はてな 提供)は、複数のサーバーのリソース状況やサービスのパフォーマンスを可視化、監視するためのサービスです。  
マルチテナント方式での提供となります。

#### ◇ご契約方法

コントロールパネルのクラウド監視メニューより、ご契約いただけます。

#### ◇監視の概要

監視対象のサーバに Mackerel エージェントをインストールするだけで様々な監視を行う事ができます。  
Mackerel エージェントはインストールされたホスト上で、定期的(1 分毎)にホスト情報、リソース情報を収集し、Mackerel へ暗号化(https 通信)して投稿します。  
投稿されたホスト情報、リソース情報は Mackerel の監視画面上で確認する事ができます。

#### ◇Mackerel エージェントについて

BIGLOBE クラウドホスティングサービスで提供する仮想サーバには、Linux サーバのみ、Mackerel エージェントをインストールした状態でご提供しております。  
Windows サーバをご利用されるお客様におかれましては、Mackerel の監視画面よりエージェントのダウンロード及びインストールをお願いします。  
※Mackerel インストール方法につきましては、Mackerel の HP をご確認ください(<https://mackerel.io/ja/>)

#### ◇プロキシサーバ経由での接続

グローバル IP が無いサーバ用に、プロキシサーバを無償提供しております。  
※プロキシサーバ経由での設定方法につきましては、下記ご参照下さい。

BIGLOBE のプロキシサーバ情報: [BIGLOBE クラウドホスティング ユーザマニュアル](#)

◇カスタムダッシュボード機能

Markdown 記法を用いて、独自のページを作成する事ができます。

Mackerel 内の任意のグラフや、監視対象サービスへの URL リンクなどを組み合わせて独自の監視ページをカスタマイズできます。

※本機能は『クラウド監視 BIGLOBE クラウド監視 Standard プラン』でのみご利用可能です。

※カスタムダッシュボード機能の詳細は、Mackerel の HP をご確認ください(<https://mackerel.io/ja/>)

◇通知チャンネル機能

Mackerel はアラート発生時、アラート状態変化時、アラート終了時でそれぞれ通知を行います。

また通知チャンネル機能を設定する事でメールだけでなく様々な WEB サービスへの連携を行う事が可能です。

※通知チャンネル機能の詳細は、Mackerel の HP をご確認ください(<https://mackerel.io/ja/>)

◇その他

BIGLOBE クラウド監視は、クラウドホスティング障害受付センターにて

24 時間 365 日サポートを行っております。

## 5 接続オプション

クラウドホスティングでは、お客様が構築した仮想サーバへ安全に接続する手段として、以下の VPN 接続オプション及び連携メニューをご提供しています。

<連携メニュー(BIGLOBE 提供)>

- (1)クラウドアクセスサービス(お客様指定回線)
- (2)クラウドアクセスサービス(IPsec-VPN)(2017年7月25日をもって新規販売を終了しました)
- (3)infra-VPN サービス(2022年5月5日をもって新規販売終了致しました)

<クラウドアプリストア(株式会社網屋 提供)>

- (4) 常時接続型クラウド VPN サービス(2016年4月をもって新規販売終了致しました)
  - 1. 拠点間接続 : 常時接続型クラウド VPN サービス
  - 2. 端末接続 : クラウド VPN ソフトウェア

<クラウドアプリストア(BIGLOBE 提供)>

- (5)BIGLOBE クラウド VPN for 奉行シリーズ(2017年1月11日をもって新規販売を終了しました)
- (6)BIGLOBE クラウド VPN for PCA シリーズ(2017年1月11日をもって新規販売を終了しました)
- (7)BIGLOBE クラウド VPN2(2021年3月23日をもって新規販売を終了しました)
- (8)BIGLOBE クラウド ソフトウェア VPN2(2021年3月23日をもって新規販売を終了しました)
- (9)BIGLOBE クラウド ソフトウェア VPN Lite(2021年3月23日をもって新規販売を終了しました)
- (10)BIGLOBE クラウド VPN3 V-Client
- (11)BIGLOBE クラウド VPN3 V-edge

接続オプションの違いを表にまとめます。

なお、ネットワーク設計はお客様責任範囲となります。

	利用用途	接続単位	回線	通信方式
(1)	・専用線、VPN 網などのお客様指定の回線でクラウドホスティングと接続する場合 ・持込みの物理機器とクラウドホスティングを接続させる場合	拠点(※1)	お客様指定	お客様指定
(2)	クラウドホスティングとお客様拠点到弊社が用意するVPNルータを設置し接続する場合	拠点(※1)	インターネット	IPsec-VPN
(3)	クラウドホスティングへのセキュアな通信が端末に限定される場合	端末(※2)	インターネット	SSL-VPN
(4)-1	安価にクラウドホスティングとお客様拠点をセキュアに接続する場合	拠点(※1)	インターネット	SSL-VPN
(4)-2	クラウドホスティングへのセキュアな通信が端末に限定される場合	端末(※2) (パソコン、スマートフォン、タブレット)	インターネット	iOS・Android : L2TP/IPsec Windows・Mac : HTTPS
(5)	安価にクラウドホスティングとお客様拠点をセキュアに接続する場合	拠点(※1)	インターネット	SSL-VPN
(6)	安価にクラウドホスティングとお客様拠点をセキュアに接続する場合	拠点(※1)	インターネット	SSL-VPN
(7)	安価にクラウドホスティングとお客様拠点をセキュアに接続する場合および、端末からも接続する場合	拠点(※1) 端末(※2) (パソコン、スマートフォン、タブレット)	インターネット	SSL-VPN iOS・Android : L2TP/IPsec Windows・Mac : HTTPS
(8)	クラウドホスティングへのセキュアな通信が端末に限定される場合	端末(※2) (パソコン、スマートフォン、タブレット)	インターネット	iOS・Android : L2TP/IPsec Windows・Mac : HTTPS
(9)	クラウドホスティングへのセキュアな通信が端末に限定される場合	端末(※2) (パソコン、スマートフォン、タブレット)	インターネット	iOS・Android : L2TP/IPsec Windows・Mac : HTTPS
(10)	クラウドホスティングへのセキュアな通信が端末に限定される場合	端末(※2) (パソコン、スマート	インターネット	iOS・Android : L2TP/IPsec Windows・Mac : HTTPS

		フォン、タブレット)		
(11)	安価にクラウドホスティングとお客様拠点をセキュアに接続する場合および、端末からも接続する場合	拠点(※1) 端末(※2) (パソコン、スマートフォン、タブレット)	インターネット	SSL-VPN iOS・Android : L2TP/IPsec Windows・Mac : HTTPS

(※1)拠点側とクラウドホスティング(センター側)にネットワーク機器(ルータ・スイッチ)を設置し、専用線やVPNで接続します。

(※2)端末にVPNソフトウェアをインストールし、クラウドホスティング(センター側)のVPNルータまたはVPNサーバとの間でVPN接続します。

次の項で、それぞれの特徴を説明いたします。

詳細は弊社HPもしくはBIGLOBE法人コンタクトセンターへお問い合わせください。

また、お客様側でのネットワーク設計や構築、PMの作業が難しい場合は、BIGLOBEのソリューションパートナーをご紹介させていただきます。導入時等でご不明な点などございましたらご連絡ください。

## 5.1 クラウドアクセスサービス(お客様指定回線)

クラウドホスティングとお客様拠点間の接続にお客様が指定された回線を引き込むことができます。例えば、既にお客様拠点で VPN 網をご利用の場合、そのネットワークを利用することで、大幅なネットワーク構成変更が不要となります。接続可能なお客様拠点数は、お客様の手配先キャリア様へご確認ください。

### ◇ネットワーク機器について(ルータ・スイッチ)について

クラウドホスティング(センター側) : お客様にてネットワーク機器をご手配いただき、弊社データセンター内の専用エリア(1/8 ラック)に設置ください。

お客様資産の持込み : 1/8 ラック内にルータ、回線終端装置以外の持込みはご遠慮いただいております。拠点側 : お客様にてご手配ください。

### <注意>

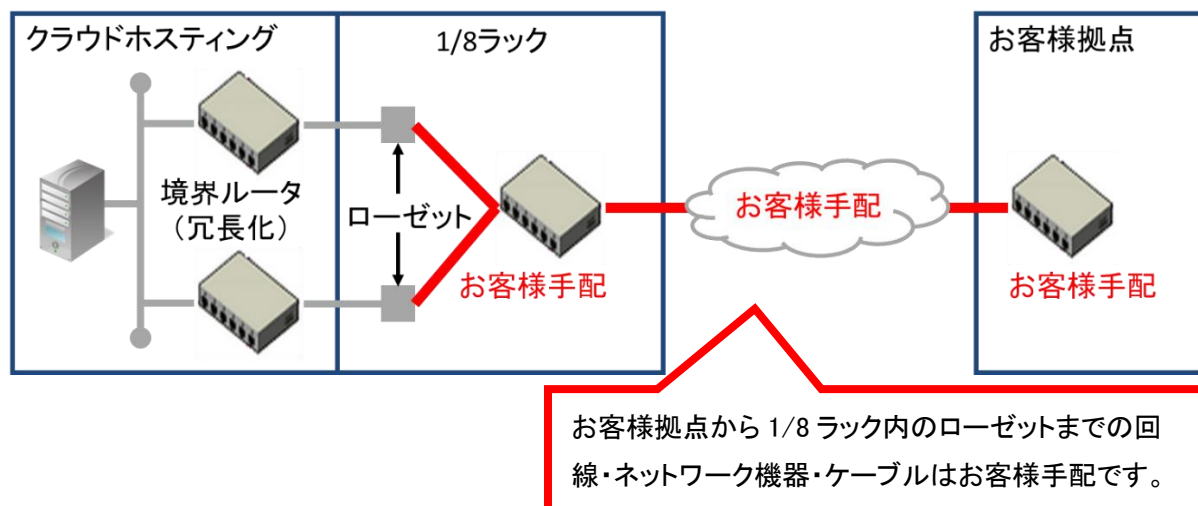
- ・設計、設定、設置、導入後の運用については、すべてお客様にて実施いただく作業となります。
- ・弊社が用意する境界ルータは Act 機、Standby 機で冗長構成(VRRP)を組んでいます。お客様は VRRP 構成を考慮したネットワーク設計を行ってください。
- ・BIGLOBE エリアの入館については、以下の制限事項がございます。
  - 入館時間 : BIGLOBE 営業日の 10:00 - 17:00 までとなります。
  - 入館申請 : 入館申請は、入館予定日の 10 営業日前までにメールで送りください。
    - メール受付時間は、BIGLOBE 営業日の 09:00 - 17:00 までとなります。
  - 緊急時の入館 : 緊急時の BIGLOBE エリアへの入館手続きについては、いかなる場合でも対応を受け付けておりません。BIGLOBE エリアへの入館手続きは通常対応のみとなります。

### ◇IP アドレスの指定について

お客様指定のプライベート IP アドレスを仮想サーバやルータに設定することができます。また、アドレス変換せずにお客様拠点から仮想サーバへ通信いただけます。

### ◇持ち込みの回線について

回線の契約、引込手配、お支払はお客様にて実施いただきます。



ご検討の場合は、BIGLOBE 法人コンタクトセンターまでご相談ください。

## 5.2 クラウドアクセスサービス(ハウジング連携)

クラウドホスティングとお客様拠点間の接続にお客様が指定された回線を引き込むことができます。例えば、既にお客様拠点で VPN 網をご利用の場合、そのネットワークを利用することで、大幅なネットワーク構成変更が不要となります。接続可能なお客様拠点数は、お客様の手配先キャリア様へご確認ください。

### ◇ネットワーク機器について(ルータ・スイッチ)について

クラウドホスティング(センター側) : お客様にてネットワーク機器をご手配いただき、他社ハウジングエリア内のご契約ラックに設置ください。

お客様資産の持込み : ネットワーク機器、サーバ、ストレージ等持込可能となります。

拠点側 : お客様にてご手配ください。

### <注意>

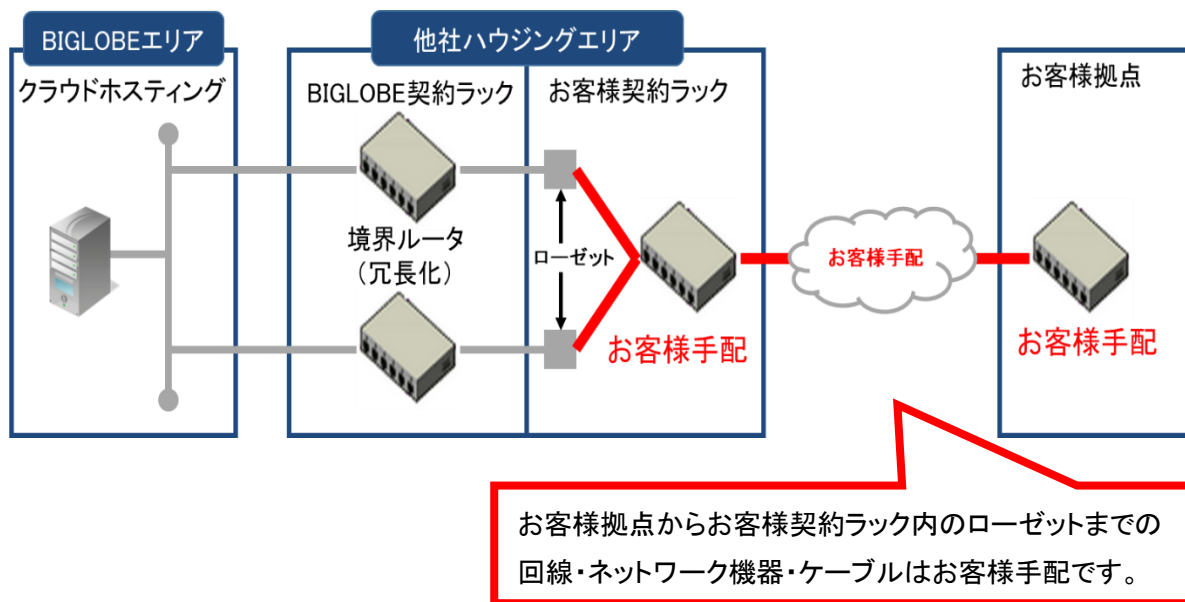
- ・設計、設定、設置、導入後の運用については、すべてお客様にて実施いただく作業となります。
- ・弊社が用意する境界ルータは Act 機、Standby 機で冗長構成(VRRP)を組んでいます。お客様は VRRP 構成を考慮したネットワーク設計を行ってください。
- ・他社ハウジングエリアの入館については以下になります。  
入館時間 : 24 時間 365 日可能  
入館申請 : 直接、他社ハウジングサービス事業者への申請となります。

### ◇IP アドレスの指定について

お客様指定のプライベート IP アドレスを仮想サーバやルータに設定することができます。また、アドレス変換せずにお客様拠点から仮想サーバへ通信いただけます。

### ◇持ち込みの回線について

回線の契約、引込手配、お支払はお客様にて実施いただきます。



ご検討の場合は、BIGLOBE 法人コンタクトセンターまでご相談ください。

## 5.3 クラウドアクセスサービス(IPsec-VPN)(2017年7月25日をもって新規販売を終了しました)

クラウドホスティングとお客様拠点間のセキュアな通信環境を実現する IPsec-VPN 環境を提供します。接続可能なお客様拠点は、1～複数拠点まで対応可能(ハブ&スポーク型)です。

### ◇VPN ルータについて

クラウドホスティング(センター側) :お客様専用機器 1 台を弊社から提供します。

拠点側 :お客様拠点へ弊社より本番機・予備機の 2 台を提供します。

センター側、拠点側両方ともお客様より指示いただいた設定内容を弊社にて VPN ルータに反映した状態で、ご提供します。本番機と予備機の切り替えはお客様にて実施いただく必要があります。

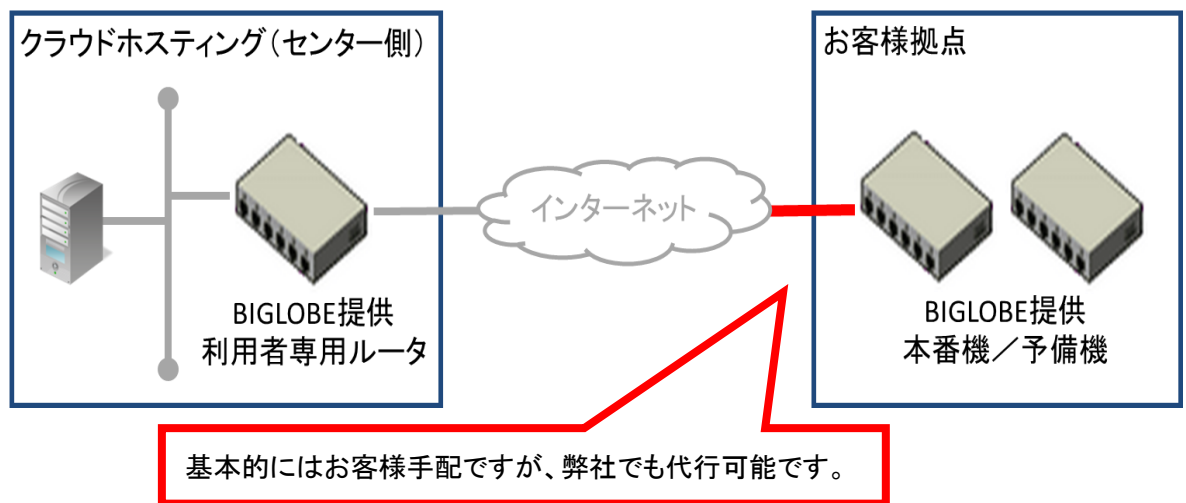
導入後の設定変更作業は、弊社にて有償対応いたします。

### ◇回線について

IPsec-VPN 専用で利用できるインターネット回線が必要となります。回線手配は基本的にはお客様作業ですが、「回線契約・ルータ設置作業」オプションをご利用いただくと、回線手配も弊社にて行います。その場合の回線は「NTT 西日本/東日本フレッツ光ネクスト 100Mbps ベストエフォート」となります。他の回線をご希望の場合は、本オプションを利用することはできません。

### ◇IP アドレスの指定について

お客様指定のプライベート IP アドレスを仮想サーバやルータに設定することができます。また、アドレス変換せずにお客様拠点から仮想サーバへ通信いただけます。



ご検討の場合は、BIGLOBE 法人コンタクトセンターまでご相談ください。



## 5.4 infra-VPN サービス(2022年5月5日をもって新規販売終了致しました)

お客様ネットワーク内の PC と、クラウドホスティングの仮想サーバ間に特別な専用装置(ネットワーク機器など)の必要なく SSL 暗号化によるセキュアな通信経路を確保するためのサービスです。インターネットへ接続可能な PC であれば場所を問わずに利用できます。また接続時に ID/パスワードによる認証を行います。

### ◇注意・制限事項

- ・ 接続元 PC には、ActiveX モジュールをインストールする必要があります。
- ・ 契約する ID 数に応じて、同時に利用できるユーザ数に上限があります。
- ・ 同じ ID を使用して複数の PC から同時に使用することはできません。
- ・ プロキシおよびファイアウォールが存在するネットワーク環境からのアクセスで、接続先制限・セッション制限・負荷分散機能を導入している場合はご利用いただけない場合があります。

ご検討の場合は、BIGLOBE 法人コンタクトセンターまでご相談ください。

## 5.5 常時接続型クラウド VPN サービス(株式会社網屋 提供) (2016年4月をもって新規販売終了致しました)

お客様が契約されているクラウドホスティングの仮想サーバとプライベート通信をカンタン & 低料金で実現するサービスです。

クラウドホスティングの仮想サーバ上にクラウドアプリストアで購入したライセンスをインストールし、VPN サーバを構築します。対抗は、拠点、端末どちらも可能です。

なお本サービスは株式会社網屋とお客様との直接契約となります。

### (1) 拠点間接続 : 常時接続型クラウド VPN サービス

お客様拠点でインターネット回線をすでに利用している場合は、その回線を利用することで、最短 3 営業日でクラウドホスティングと VPN 接続することが可能です。

ネットワークポロジはフルメッシュ型のため、各拠点間から直接通信を行えます。

なお、拠点側の VPN ルータをオプションで本番機・予備機の 2 台を提供することも可能です。

### (2) 端末接続 : クラウド VPN ソフトウェア

端末(パソコンやスマホなど)に VPN ソフトウェアをインストールし、クラウドホスティングと VPN で接続します。

### ◇IP アドレスの指定について

お客様指定のプライベート IP アドレスを仮想サーバやルータに設定することができます。また、アドレス変換せずにお客様拠点から仮想サーバへ通信いただけます。

その他詳細は、クラウドアプリストアをご確認いただくか、株式会社網屋へ直接お問合せください。

## 5.6 BIGLOBE クラウド VPN for 奉行シリーズ(2017 年 1 月 11 日をもって新規販売を終了しました)

新規に BIGLOBE クラウドホスティングの利用申込みを行う場合かつ、株式会社オービックビジネスコンサルタントのソフトウェア製品である「奉行シリーズ」の利用用途にてサーバを作成する場合に提供するインターネット VPN サービスです。

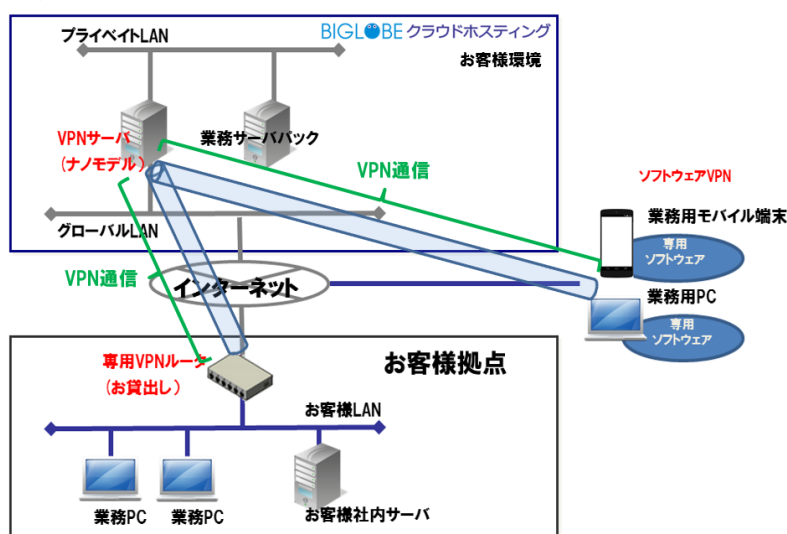
### ◇サービス構成

- ① クラウド側 VPN サーバ 1 台 初期構築・サーバ保守・運用代行
  - ② お客様拠点側専用 VPN ルータ 1 台 機器保守・運用代行
- 上記、①、②をオールインワンパッケージで提供するサービスです。

### ◇サービスの特徴

- ・常時接続型クラウド VPN サービスです。
- ・お客様拠点でインターネット回線をすでに利用している場合は、その回線を利用することで、最短 3 営業日でクラウドホスティングと VPN 接続することが可能です。
- ※お客様拠点側インターネット接続回線は、お客様ご自身でご用意頂く必要があります。
- ・クラウドホスティング上に VPN サーバを構築し、お客様拠点に専用 VPN ルータをお貸出します。
- ・コンフィグレーション設定済みの専用 VPN ルータをお客様拠点側に、お客様ご自身で設置頂きます。
- ・クラウド側 VPN サーバ、お客様拠点側専用 VPN ルータのそれぞれの保守、運用代行のサービスが付きます。(サービス提供時間は 24 時間 365 日で、サポート時間は平日 9 時～17 時となります。)
- ・スループットは、お客様契約のインターネット回線が 100Mbps 以上の場合、70Mbps ベストエフォートとなります。
- ・クラウドホスティングをご利用する拠点が複数ある場合も、クラウドアプリストアで拠点追加用のライセンスを購入頂くことで、対応可能です。
- ・ネットワークポロジはフルメッシュ型のため、各拠点間から直接通信を行えます。
- ・IP アドレスの指定について、お客様指定のプライベート IP アドレスを仮想サーバやルータに設定することができます。また、アドレス変換せずにお客様拠点から仮想サーバへ通信いただけます。(原則 NAT なし)
- ・別メニューの「BIGLOBE クラウド ソフトウェア VPN2(追加ライセンス)」を購入することで、端末(パソコンやスマホなど)に専用の VPN ソフトウェアをインストールし、クラウドホスティングと VPN 接続することが可能です。

### ◇システム構成イメージ



その他詳細は、クラウドアプリストアをご確認いただくか、BIGLOBE 法人コンタクトセンターへ直接お問合せください。

## 5.7 BIGLOBE クラウド VPN for PCA シリーズ(2017 年 1 月 11 日をもって新規販売を終了しました)

新規に BIGLOBE クラウドホスティングの利用申込みを行う場合かつ、ピー・シー・エー株式会社のソフトウェア製品である「PCA シリーズ」の利用用途にてサーバを作成する場合に提供するインターネット VPN サービスです。

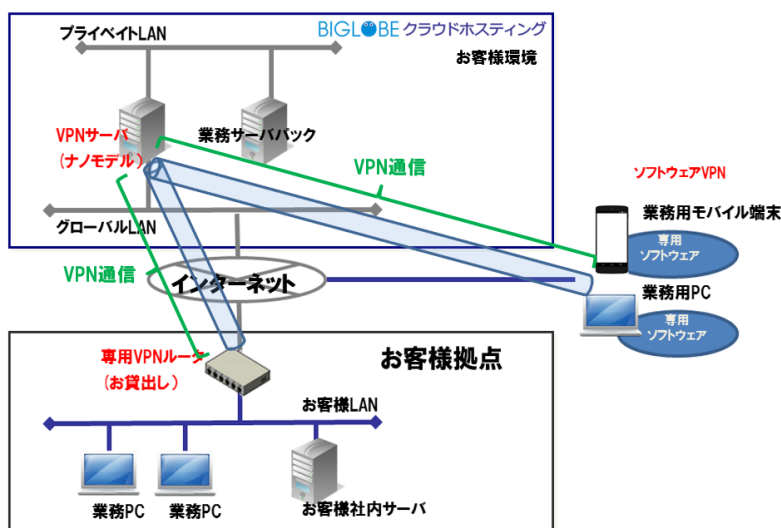
### ◇サービス構成

- ① クラウド側 VPN サーバ 1 台 初期構築・サーバ保守・運用代行
  - ② お客様拠点側専用 VPN ルータ 1 台 機器保守・運用代行
- 上記、①、②をオールインワンパッケージで提供するサービスです。

### ◇サービスの特徴

- ・常時接続型クラウド VPN サービスです。
- ・お客様拠点でインターネット回線をすでに利用している場合は、その回線を利用することで、最短 3 営業日でクラウドホスティングと VPN 接続することが可能です。
- ※お客様拠点側インターネット接続回線は、お客様ご自身でご用意頂く必要があります。
- ・クラウドホスティング上に VPN サーバを構築し、お客様拠点に専用 VPN ルータをお貸出します。
- ・コンフィグレーション設定済みの専用 VPN ルータをお客様拠点側に、お客様ご自身で設置頂きます。
- ・クラウド側 VPN サーバ、お客様拠点側専用 VPN ルータのそれぞれの保守、運用代行のサービスが付きます。(サービス提供時間は 24 時間 365 日で、サポート時間は平日 9 時～17 時となります。)
- ・スループットは、お客様契約のインターネット回線が 100Mbps 以上の場合、70Mbps ベストエフォートとなります。
- ・クラウドホスティングをご利用する拠点が複数ある場合も、クラウドアプリストアで拠点追加用のライセンスを購入頂くことで、対応可能です。
- ・ネットワークポロジはフルメッシュ型のため、各拠点間から直接通信を行えます。
- ・IP アドレスの指定について、お客様指定のプライベート IP アドレスを仮想サーバやルータに設定することができます。また、アドレス変換せずにお客様拠点から仮想サーバへ通信いただけます。(原則 NAT なし)
- ・別メニューの「BIGLOBE クラウド ソフトウェア VPN2(追加ライセンス)」を購入することで、端末(パソコンやスマホなど)に専用の VPN ソフトウェアをインストールし、クラウドホスティングと VPN 接続することが可能です。

### ◇システム構成イメージ



その他詳細は、クラウドアプリストアをご確認いただくか、BIGLOBE 法人コンタクトセンターへ直接お問合せください。

## 5.8 BIGLOBE クラウド VPN2(2021年3月23日をもって新規販売を終了しました)

BIGLOBE クラウドホスティングのサーバ接続する場合のみ、ご利用が可能な VPN(プライベート通信)サービスです。クラウドアプリストアで購入可能です。

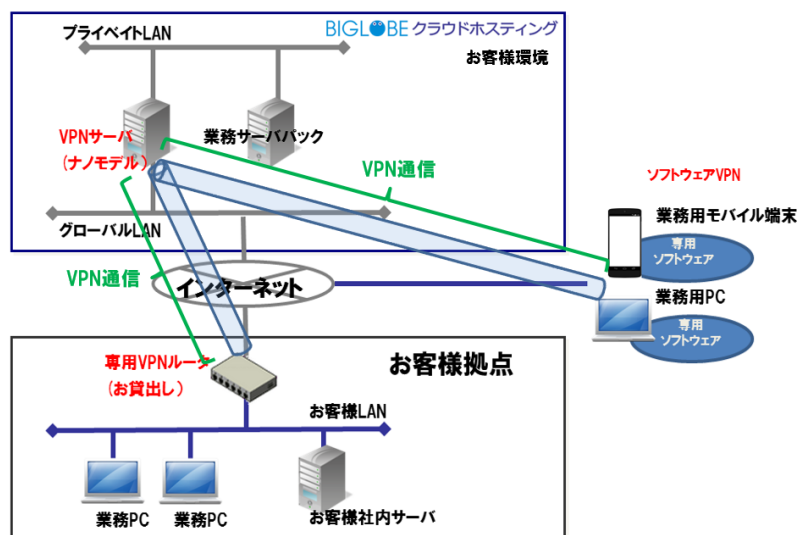
### ◇サービス構成

- ① クラウド側 VPN サーバ 1 台 初期構築・サーバ保守・運用代行
  - ② お客様拠点側専用 VPN ルータ 1 台 機器保守・運用代行
  - ③ ソフトウェア VPN ライセンス 10 ライセンス分
- 上記、①、②、③をオールインワンパッケージで提供するサービスです。

### ◇サービスの特徴

- ・常時接続型クラウド VPN サービスです。
- ・お客様拠点でインターネット回線をすでに利用している場合は、その回線を利用することで、最短 15 営業日でクラウドホスティングと VPN 接続することが可能です。
- ※お客様拠点側インターネット接続回線は、お客様ご自身でご用意頂く必要があります。
- ・クラウドホスティング上に VPN サーバを構築し、お客様拠点に専用 VPN ルータをお貸出します。
- ・コンフィグレーション設定済みの専用 VPN ルータをお客様拠点側に、お客様ご自身で設置頂きます。
- ・クラウド側 VPN サーバ、お客様拠点側専用 VPN ルータのそれぞれの保守、運用代行のサービスが付きます。(サービス提供時間は 24 時間 365 日で、サポート時間は平日 9 時～17 時となります。)
- ・端末(パソコンやスマホなど)に専用の VPN ソフトウェアをインストールし、クラウドホスティングと VPN 接続することが可能です。
- ・クラウドホスティングをご利用する拠点が複数ある場合も、クラウドアプリストアで拠点追加用のライセンスを購入頂くことで、対応可能です。
- ・ネットワークポロジはフルメッシュ型のため、各拠点間から直接通信を行えます。
- ・IP アドレスの指定について、お客様指定のプライベート IP アドレスを仮想サーバやルータに設定することができます。また、アドレス変換せずにお客様拠点から仮想サーバへ通信いただけます。(原則 NAT なし)
- ・別メニューの「BIGLOBE クラウド ソフトウェア VPN2(追加ライセンス)」を購入することで、ソフトウェア VPN ライセンスを追加することが可能です。

### ◇システム構成イメージ



その他詳細は、クラウドアプリストアをご確認いただくか、BIGLOBE 法人コンタクトセンターへ直接お問合せください。

## 5.9 BIGLOBE クラウド ソフトウェア VPN2(2021 年 3 月 23 日をもって新規販売を終了しました)

BIGLOBE クラウドホスティングのサーバ接続する場合のみ、ご利用が可能な VPN(プライベート通信)サービスです。クラウドアプリストアで購入可能です。

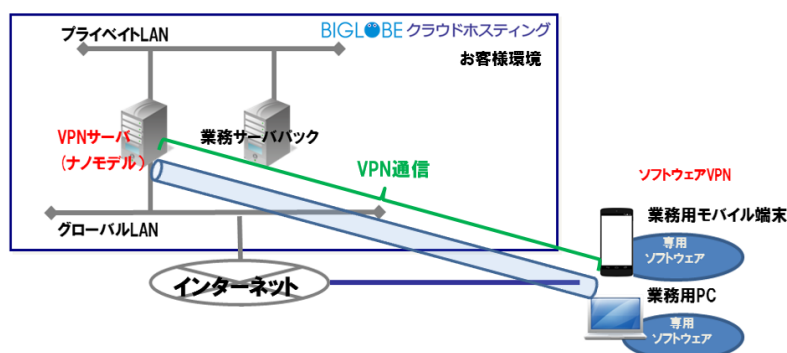
### ◇サービス構成

- ① クラウド側 VPN サーバ 1 台 初期構築・サーバ保守・運用代行
  - ② ソフトウェア VPN ライセンス 10 ライセンス分
- 上記、①、②をオールインワンパッケージで提供するサービスです。

### ◇サービスの特徴

- ・常時接続型クラウド VPN サービスです。
- ・お客様拠点でインターネット回線をすでに利用している場合は、その回線を利用することで、最短 15 営業日でクラウドホスティングと VPN 接続することが可能です。
- ※お客様拠点側インターネット接続回線は、お客様ご自身でご用意頂く必要があります。
- ・クラウドホスティング上に VPN サーバを構築します。
- ・クラウド側 VPN サーバの保守、運用代行のサービスが付きます。(サービス提供時間は 24 時間 365 日で、サポート時間は平日 9 時～17 時となります。)
- ・端末(パソコンやスマホなど)に専用の VPN ソフトウェアをインストールし、クラウドホスティングと VPN 接続することが可能です。
- ・クラウドホスティングをご利用する拠点が複数ある場合も、クラウドアプリストアで拠点追加用のライセンスを購入頂くことで、対応可能です。
- ・ネットワークポロジはフルメッシュ型のため、各拠点間から直接通信を行えます。
- ・IP アドレスの指定について、お客様指定のプライベート IP アドレスを仮想サーバやルータに設定することができます。また、アドレス変換せずにお客様拠点から仮想サーバへ通信いただけます。(原則 NAT なし)
- ・別メニューの「BIGLOBE クラウド ソフトウェア VPN2(追加ライセンス)」を購入することで、ソフトウェア VPN ライセンスを追加することが可能です。

### ◇システム構成イメージ



その他詳細は、クラウドアプリストアをご確認いただくか、BIGLOBE 法人コンタクトセンターへ直接お問合せください。

## 5.10 BIGLOBE クラウド ソフトウェア VPN Lite(2021 年 3 月 23 日をもって新規販売を終了しました)

BIGLOBE クラウドホスティングのサーバ接続する場合のみ、ご利用が可能な VPN(プライベート通信)サービスです。クラウドアプリストアで購入可能です。

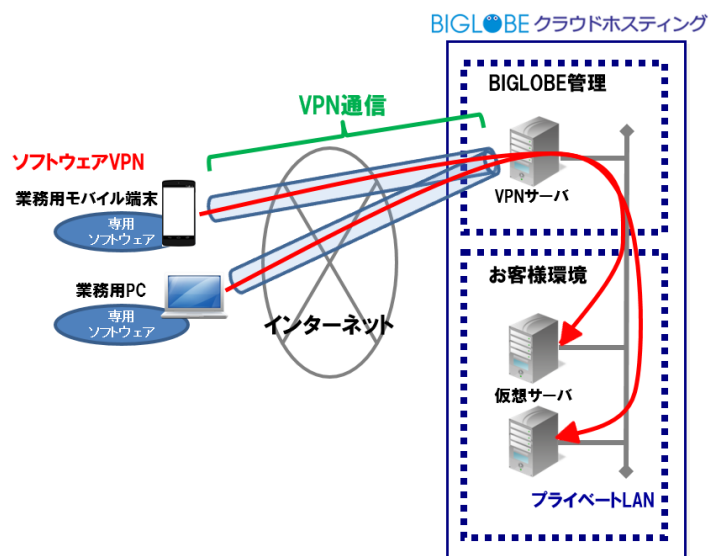
### ◇サービス構成

ソフトウェア VPN ライセンス 5 ライセンス分  
VPN を SaaS 型で提供するサービスです。

### ◇サービスの特徴

- ・ご購入後、即時ご利用いただくことができます。
- ・インターネットに接続できるクライアント端末であれば、クラウドホスティングと VPN 接続することが可能です。  
※インターネット接続環境は、お客様ご自身でご用意頂く必要があります。
- ・クラウド側 VPN サーバは BIGLOBE 管理となります。(サービス提供時間は 24 時間 365 日で、サポート時間は平日 9 時～17 時となります。)
- ・端末(パソコンやスマホなど)に専用の VPN ソフトウェアをインストールし、クラウドホスティングと VPN 接続することが可能です。
- ・別メニューの「BIGLOBE クラウド VPN V-Client(追加 1 ライセンス)」を購入することで、ソフトウェア VPN ライセンスを追加することが可能です。
- ・お客様拠点に物理 VPN ルータを設置したい場合は、別メニューの「BIGLOBE クラウド VPN2」をご購入ください。

### ◇システム構成イメージ



その他詳細は、クラウドアプリストアをご確認いただくか、BIGLOBE 法人コンタクトセンターへ直接お問合せください。

## 5.11 BIGLOBE クラウド VPN3 V-Client

BIGLOBE クラウドホスティングのサーバ接続する場合のみ、ご利用が可能な VPN(プライベート通信)サービスです。クラウドアプリストアで購入可能です。

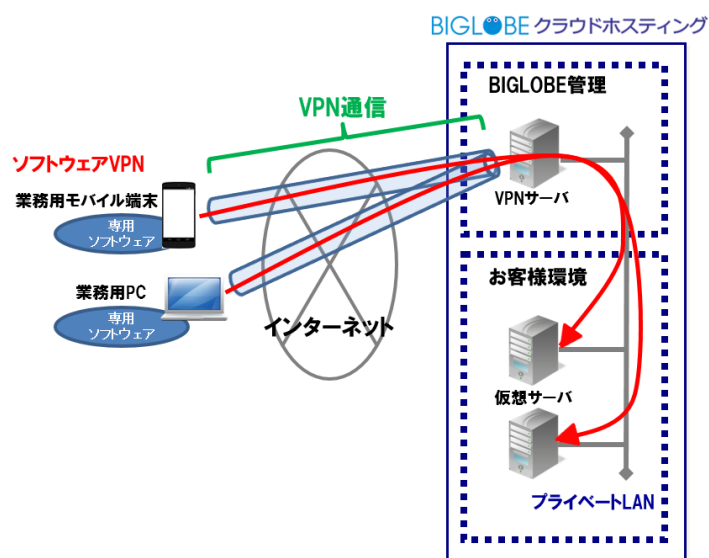
### ◇サービス構成

ソフトウェア VPN ライセンス 5 ライセンス分  
VPN を SaaS 型で提供するサービスです。

### ◇サービスの特徴

- ・ご購入後、即時ご利用いただくことができます。
- ・インターネットに接続できるクライアント端末であれば、クラウドホスティングと VPN 接続することが可能です。  
※インターネット接続環境は、お客様ご自身でご用意頂く必要があります。
- ・クラウド側 VPN サーバは BIGLOBE 管理となります。(サービス提供時間は 24 時間 365 日で、サポート時間は平日 9 時～17 時となります。)
- ・端末(パソコンやスマホなど)に専用の VPN ソフトウェアをインストールし、クラウドホスティングと VPN 接続することが可能です。
- ・別メニューの「BIGLOBE クラウド VPN V-Client(追加 1 ライセンス)」を購入することで、ソフトウェア VPN ライセンスを追加することが可能です。
- ・別メニューの「BIGLOBE クラウド VPN3 V-edge(追加 1 ルータ)」を購入することで、お客様拠点に物理 VPN ルータを設置することが可能です。

### ◇システム構成イメージ



その他詳細は、クラウドアプリストアをご確認いただくか、BIGLOBE 法人コンタクトセンターへ直接お問合せください。



## 5.12 BIGLOBE クラウド VPN3 V-edge

BIGLOBE クラウドホスティングのサーバ接続する場合のみ、ご利用が可能な VPN(プライベート通信)サービスです。クラウドアプリストアで購入可能です。

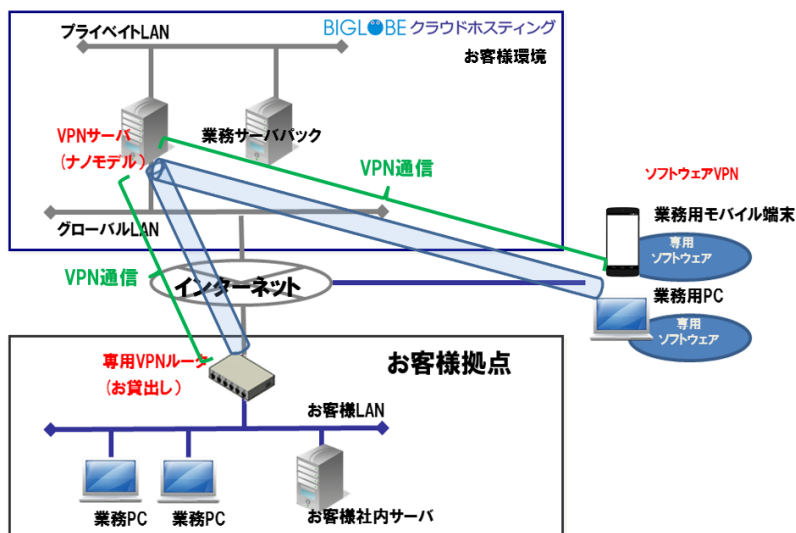
### ◇サービス構成

- ① クラウド側 VPN サーバ 1 台 初期構築・サーバ保守・運用代行
  - ② お客様拠点側専用 VPN ルータ 1 台 機器保守・運用代行
- 上記、①、②をオールインワンパッケージで提供するサービスです。

### ◇サービスの特徴

- ・常時接続型クラウド VPN サービスです。
- ・お客様拠点でインターネット回線をすでに利用している場合は、その回線を利用することで、最短 15 営業日でクラウドホスティングと VPN 接続することが可能です。
- ※お客様拠点側インターネット接続回線は、お客様ご自身でご用意頂く必要があります。
- ・クラウドホスティング上に VPN サーバを構築し、お客様拠点に専用 VPN ルータをお貸出しします。
- ・コンフィグレーション設定済みの専用 VPN ルータをお客様拠点側に、お客様ご自身で設置頂きます。
- ・クラウド側 VPN サーバ、お客様拠点側専用 VPN ルータのそれぞれの保守、運用代行のサービスが付きます。(サービス提供時間は 24 時間 365 日で、サポート時間は平日 9 時～17 時となります。)
- ・別メニューの「BIGLOBE クラウド VPN3 V-edge(追加 1 ルータ)」を購入することで、クラウドホスティングをご利用する拠点が複数ある場合も対応可能です。
- ・ネットワークポロジはフルメッシュ型のため、各拠点間から直接通信を行えます。
- ・IP アドレスの指定について、お客様指定のプライベート IP アドレスを仮想サーバやルータに設定することができます。また、アドレス変換せずにお客様拠点から仮想サーバへ通信いただけます。(原則 NAT なし)
- ・別メニューの「BIGLOBE クラウド VPN V-Client(追加 1 ライセンス)」を購入することで、拠点以外にある端末(パソコンやスマホなど)に専用の VPN ソフトウェアをインストールし、クラウドホスティングと VPN 接続することが可能です。

### ◇システム構成イメージ



その他詳細は、クラウドアプリストアをご確認いただくか、BIGLOBE 法人コンタクトセンターへ直接お問合せください。



## 6 その他関連情報

### [BIGLOBE クラウドホスティング ユーザマニュアル](https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/customer.html)

<https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/customer.html>

クラウドホスティングのサービス詳細および利用方法をまとめたドキュメントです。  
上記サイト以外にも、ご契約後のコントロールパネルからもご確認いただけます。

### [BIGLOBE クラウドホスティング API リファレンスガイド](https://help.cloudhosting.biglobe.ne.jp/cloudhosting/api/)

<https://help.cloudhosting.biglobe.ne.jp/cloudhosting/api/>

クラウドホスティングの API 情報をまとめたドキュメントです。  
API をご利用いただくには、別途お申し込みが必要になります(無料)。

### [BIGLOBE クラウドホスティング ホワイトペーパー](https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/customer.html)

<https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/customer.html>

クラウドホスティングの詳細情報です。  
「仮想サーバ」、「仮想ディスク」、「ネットワーク(本書)」、「セキュリティ」を提供しています。

### [BIGLOBE クラウドホスティング よくあるご質問](https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/faq/index.html)

<https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/faq/index.html>

クラウドホスティングの検討・ご利用にあたって、お客様のお問い合わせが多い項目について記載しています。  
疑問点がございましたら、まずこちらをご確認下さい。

### [BIGLOBE クラウドホスティング サービス仕様](https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/feature.html)

<https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/feature.html>

クラウドホスティングのサービス仕様および品質保証について記載しています。  
サービス導入をご検討の方は最新の情報をご確認頂き、ご検討ください。

### [BIGLOBE クラウドホスティング 料金シミュレータ](https://sim.business.biglobe.ne.jp/hosting/cloud/)

<https://sim.business.biglobe.ne.jp/hosting/cloud/>

クラウドホスティングの料金を月額プランでシミュレーションします。

### [BIGLOBE クラウドホスティング 運用/障害情報サイト](https://help.cloudhosting.biglobe.ne.jp/cloudhosting/info/)

<https://help.cloudhosting.biglobe.ne.jp/cloudhosting/info/>

クラウドホスティングに障害が発生した場合に障害情報を掲載します。

### [その他お問い合わせ先\(サービスご契約済のお客様\)](https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/login/index.html)

<https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/login/index.html>

コントロールパネルのお問い合わせフォームをご利用ください。

### [その他お問い合わせ先\(サービスご利用検討中のお客様\)](https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/index.html)

<https://biz.biglobe.ne.jp/hosting/index.html>

お問い合わせフォームからお問い合わせください。

## ご注意

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

本書の内容については万全を期して作成いたしました<sup>が</sup>、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、BIGLOBE 法人コンタクトセンターへご連絡ください。

## 商標について

- ✓ VMware vSphere は VMware, Inc. の米国および各国での商標または登録商標です。
- ✓ Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ✓ Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ✓ InfoCage、SiteShell は日本電気株式会社の登録商標です。
- ✓ その他、本マニュアルに掲載された各社名、各製品名、各ロゴは、各社の登録商標または商標です。

BIGLOBE クラウドホスティング  
ホワイトペーパー  
ネットワーク編

4.2 版 2023 年 12 月

ビッグロブ株式会社